



行政の窓



令和4年 特用林産統計について

【特用林産物生産額】

令和4年における道内の特用林産物の総生産量は約17,605トン（前年比96%）、総生産額は約92億円（前年比89%）と、共に5年連続前年を下回りました。

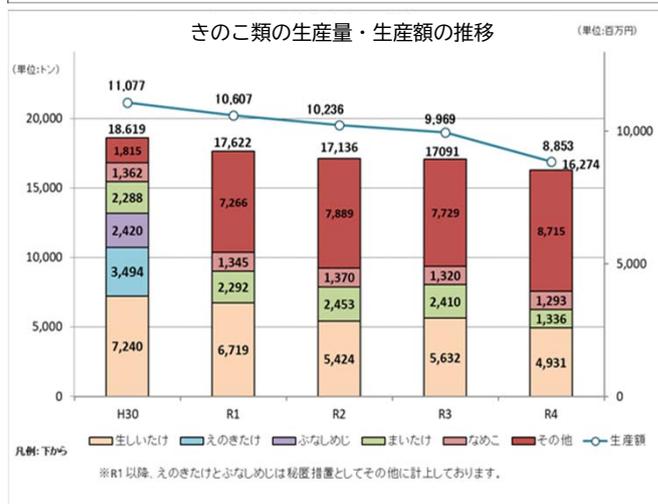


【きのこ類の生産動向】

令和4年のきのこ類の生産量は16,274トン（前年比95%）、生産額は約89億円（前年比89%）でした。いずれも前年を下回ったのは、道内で最も生産量の多い「生しいたけ」（原木及び菌床）生産量が4,931トン（前年比87%）と、前年を下回ったことが影響しています。

次いで生産量の多いえのきたけ、3位のぶなしめじは、秘匿措置※3としておりますが、共に前年からほぼ横ばいの生産量でした。

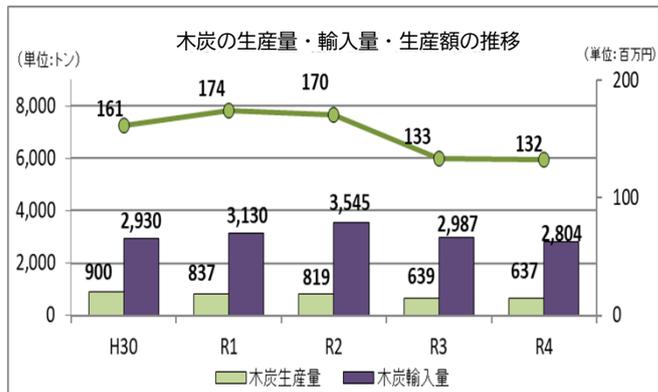
道内品種別生産量は、これら3品目で全道きのこ生産量の約70%を占めています。



【木炭（黒炭）の生産動向】

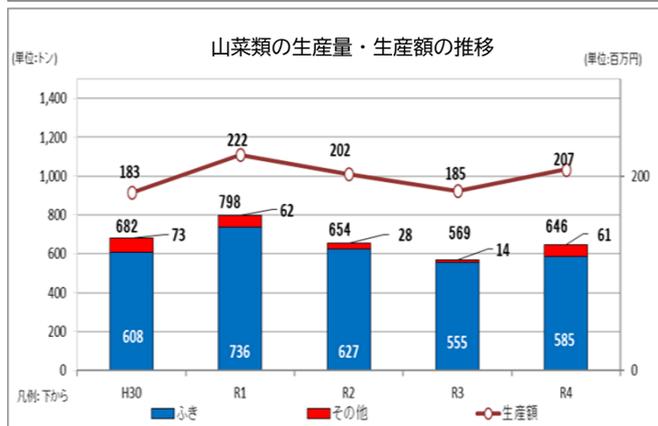
令和4年の生産量は637トン（前年比99%）、生産額は約1.3億円（前年比100%）と、共に前年からほぼ横ばいとなりました。

なお、令和4年は輸入木炭も、2,804トン（前年比94%）と、直近5年で最も少ない輸入量となりました。



【山菜類の生産動向】

令和4年は生産量が646トン（前年比113%）、生産額は約2億円（前年比112%）と、いずれも前年を上回りました。



- ※1 上記数値は、全て速報値となります。
- ※2 上記生産額は、全て推計額となります。
- ※3 統計調査の公表にあたって、調査対象者数が2以下の場合、個人又は法人その他の団体に関する調査結果の秘密保護の観点から秘匿措置を施しております。

（水産林務部林務局林業木材課木材産業係）